

寒川町 みんなの地域福祉つながりプラン 後期事業版（案）

（第3次寒川町地域福祉計画・第4次寒川町社会福祉協議会地域福祉活動計画）

平成30年度～平成32年度



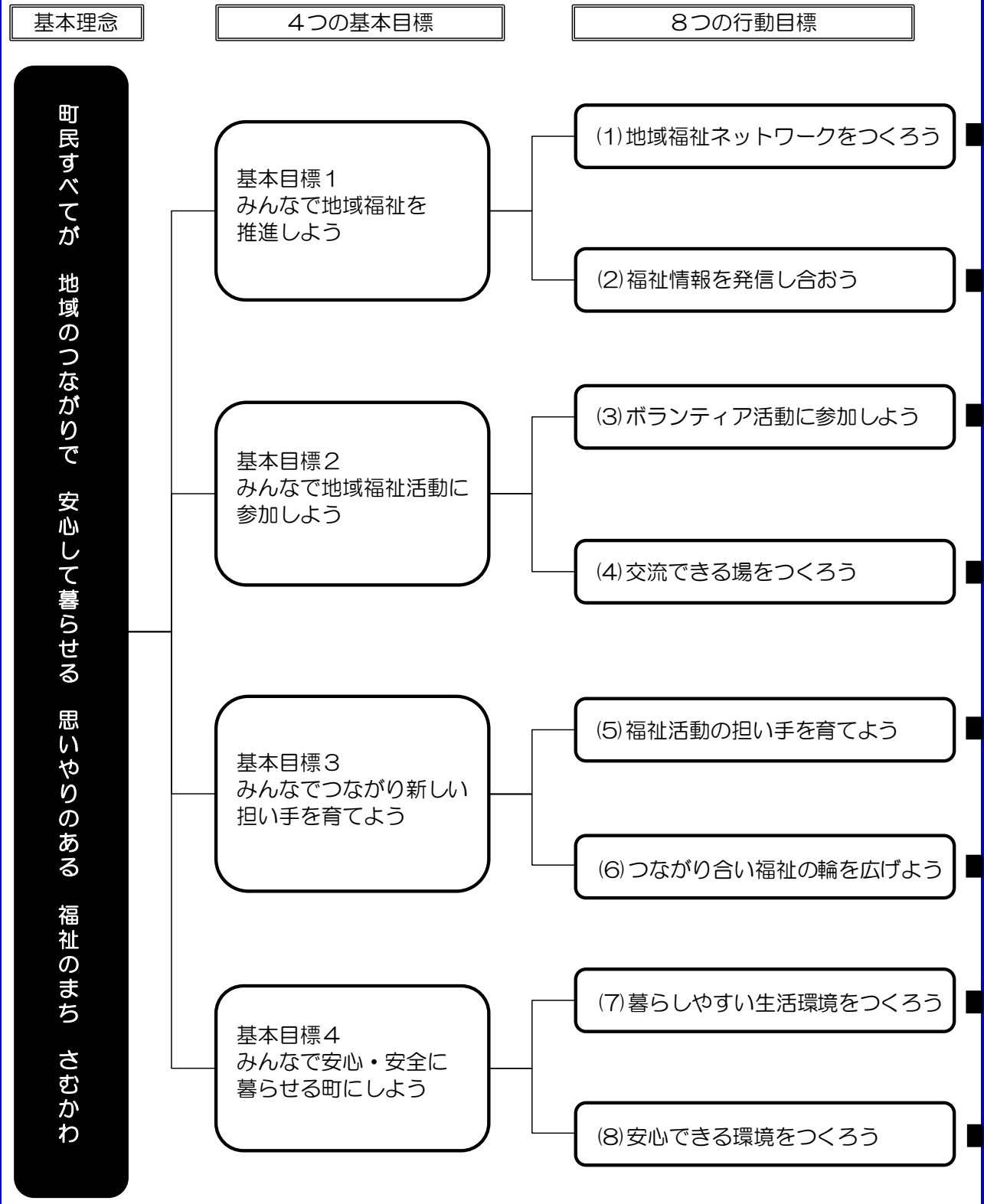
平成30年3月

寒川町

社会福祉法人寒川町社会福祉協議会

◎計画の体系

本計画は、寒川町の地域福祉計画と寒川町社会福祉協議会の地域福祉活動計画を一体的に策定することを具体化していく計画となります。また、地域のさまざまな福祉課題に対して、一人ひとりの町民、地本理念を定めました。基本理念である『町民すべてが 地域のつながりで 安心して暮らせる 思いや



とで、両計画の特性を併せ持つとともに、寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」が示す地域福祉域、行政や社会福祉協議会など互いに協力し取り組み、支え合うことで地域福祉を推進していくため基
 りのある『福祉のまち さむかわ』の実現に向け、4つの基本目標を設定し計画を展開してきます。
 （※特に重要な課題に対しては★で標記しています。）

具体的な取り組み	～主な事業～ 町・社会福祉協議会
①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり ★	<ul style="list-style-type: none"> ・包括的支援事業（町） ・地域の各種団体との連携、ネットワークの拡大（社会福祉協議会）
①福祉サービスにかかる情報公開 ②町民に伝わりやすい情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「社協さむかわ」の発行（社会福祉協議会） ・ホームページの充実（町・社会福祉協議会）
①ボランティア活動ができる環境づくり ②ボランティア活動への参加促進 ★	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター事業（社会福祉協議会） ・ボランティア活動のPRと参加しやすい環境づくり（社会福祉協議会）
①交流ができる環境づくり ②地域で支え合える相談体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員活動事業（町） ・小地域福祉活動事業（社会福祉協議会）
①学習機会の充実 ★ ②世代や障がいを越えた交流の場の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・手話奉仕員養成研修事業（町） ・ボランティア講座（社会福祉協議会）
①地域における人材の受け入れ拡大 ②地域企業や学校等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター支援事業（町） ・小学校福祉協力校助成事業（社会福祉協議会）
①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅障がい者福祉サービス充実事業（町） ・子育て支援事業（町） ・高齢者在宅福祉サービス事業（町） ・法人後見事業（社会福祉協議会）
①健康づくり ②緊急・災害時の対応 ★	<ul style="list-style-type: none"> ・健康普及事業（町） ・避難行動要支援者支援事業（町） ・災害ボランティアセンター（社会福祉協議会）

■平成30年度～平成32年度までの地域福祉の展開■

後期事業版は、平成28・29年度に進めた前期事業について見直しを行い、目標数値等を設定しました。後期事業目標は次の通りとなります。



【基本目標1】みんなで地域福祉を推進しよう

(1) 地域福祉ネットワークをつくろう

☆方向性

①地域福祉活動拠点の充実

→町民、地域、社会福祉協議会、行政が協働して活動が展開できる拠点づくりを進めていきます。

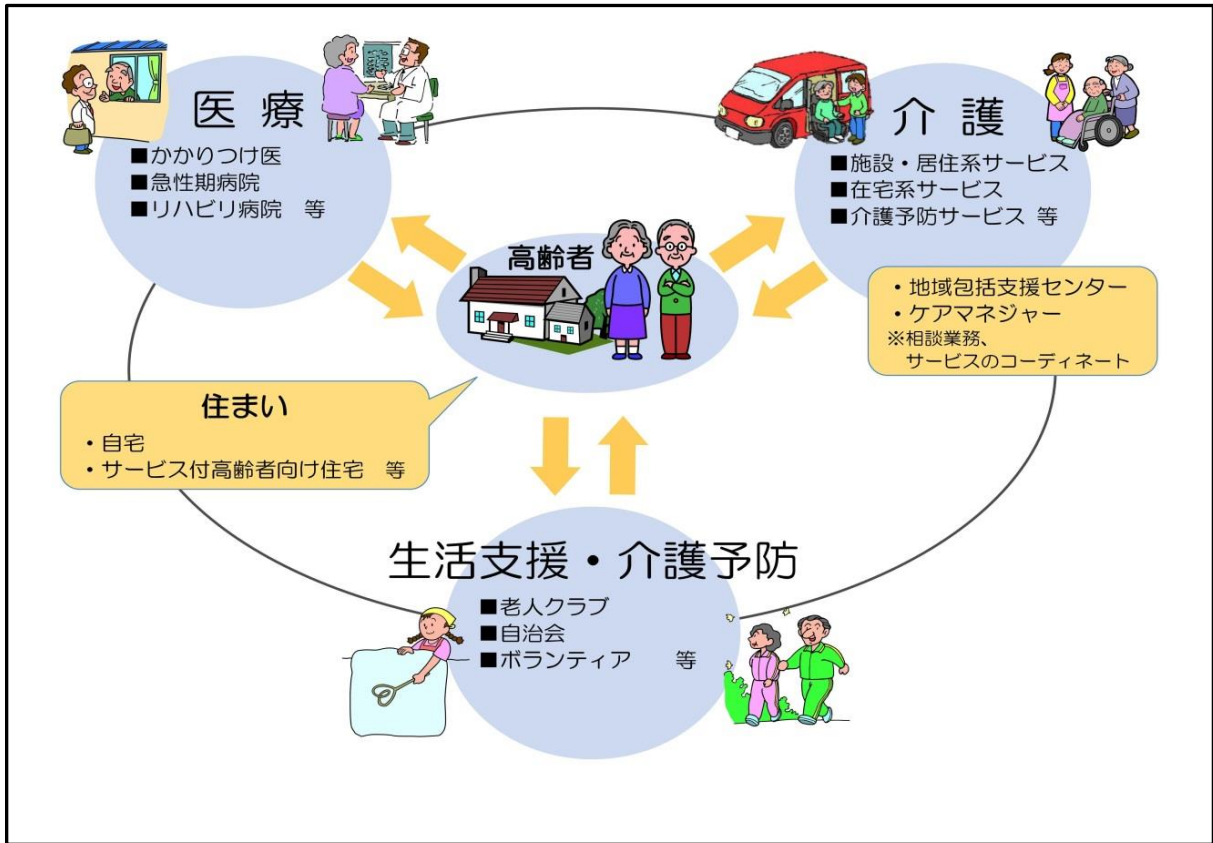
②各種体制のネットワークづくり★

→地域、団体、社会福祉協議会、行政等が連携を深めネットワークづくりを進めていきます。

☆それぞれの役割

住民	・隣近所とのあいさつを心がけ交流を持とう。	
自治会、民生委員・児童委員、地域団体・ボランティア団体など	・住民が地域でつながるきっかけをつくろう。	
福祉団体、福祉事業者など	・専門的な助言と支援をしよう。	
社会福祉協議会	・団体等との福祉に関する懇談の場を設け、ニーズ把握に努めます。 ・福祉サービスを誰もが受けやすい相談体制づくりに努めます。	
町	・地域包括ケアシステム構築に向けて、地域包括支援センターを中心に体制の整備を推進します。	

■地域包括ケアシステムイメージ図■



☆主な取り組み（※目標が数値で表せない事業については●で表現しています。）

・（仮称）健康福祉総合センター検討・建設事業（町）

概要	庁内検討委員会や外部組織の意見を取り入れながら、必要な機能及び施設を検討し、健康、福祉、交流等の総合拠点として建設します。	実績値（28年度）：●				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	※寒川町公共施設再編計画により建設検討がされるため平成29年度以降は「－」とする。	●	－	－	－	－

※寒川町公共施設等総合管理計画が策定され、（仮称）健康福祉総合センター建設用地については、既存の保健福祉施設や役場庁舎機能等を集約した複合化という形での方向性が示されたことに併せ、今後は施設再編課で策定する寒川町公共施設再編計画により建設検討がされます。

• 包括的支援事業（町）

概要	高齢者の介護予防及び包括的ケアマネジメント、総合相談・権利擁護を実施できるよう支援を行います。	実績値（28年度）：1 （出張相談箇所 2）				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	包括支援センター設置数 （相談窓口箇所）	1	3	3	3	3

• 社会福祉協議会補助事業（町）

概要	地域福祉を推進する事業を実施している社会福祉協議会に対し補助金を交付し、地域福祉が推進するよう必要な助言等を行い、連携を図ります。	実績値（28年度）：85				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	事業カリキュラム数	82	83	83	84	84

• 相談支援事業（町）

概要	障がい者の自立した生活を送ることができるよう、制度利用や日常生活上の相談等を受け、必要な情報を提供するための相談窓口を開設します。	実績値（28年度）：4,906				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	相談支援件数（件）	3,700	3,848	4,714	4,559	4,408

※平成30年度以降の件数については、計上方法が変わったため減っています。

• 社会福祉協議会PR活動、懇談（社会福祉協議会）

概要	民生委員・児童委員の会合や自治会等各団体に直接出向き、顔の見える関係づくりを通して社協に対する理解を深めてもらうとともに、意見交換を通じ、ニーズ把握に努めます。	実績値（28年度）：33				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	社協PR活動回数（回）	25	25	27	28	29

- 地域の各種団体との連携、ネットワークの拡大（社会福祉協議会）

概要	協議体であるという強みを活かし、各種の事業等で地域の個人、団体と連携・協力します。 新たなネットワーク体制の構築に取り組みます。	実績値（28年度）：●				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	地域や個別の課題に対し、地域住民、あらゆる団体等とネットワークを構築し、課題解決に向けた取り組みを行います。	●	●	●	●	●

（２）福祉情報を発信し合おう

☆方向性


- ①福祉サービスにかかる情報公開

→積極的な事業の情報公開等に取り組みます。

- ②町民に伝わりやすい情報提供

→地域のすべての人に対して、必要とする福祉情報が適切に提供できる仕組みづくりを進めていきます。

☆それぞれの役割

住民	<ul style="list-style-type: none"> • 福祉情報を収集し伝えていこう。 	
自治会、民生委員・児童委員、地域団体・ボランティア団体など	<ul style="list-style-type: none"> • 活動で得た福祉情報や、自分たちの活動を発信しよう。 	
福祉団体、福祉事業者など	<ul style="list-style-type: none"> • 事業に関する情報や関連機関の福祉情報を発信しよう。 	
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> • 福祉に関わる情報を収集、整理しわかりやすく提供します。 • 福祉サービスの内容と費用の情報提供をします。 • 正確で公平な情報提供をします。 • 世代別、状況別に対応できる情報発信手段の使い分けに努めます。 	
町	<ul style="list-style-type: none"> • 生活に必要な不可欠な情報をホームページや広報にて広く提供します。 	

☆主な取り組み（※目標が数値で表せない事業については●で表現しています。）

- ・広報紙「社協さむかわ」の発行（社会福祉協議会）

概要	広報紙「社協さむかわ」を隔月発行し、福祉情報を全世帯にお届けします。	実績値（28年度）：●				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	紙面ならではの発信力を高めるよう工夫し、地域福祉情報を分かりやすく伝えます。	●	●	●	●	●

- ・ホームページの充実（町・社会福祉協議会）

概要	より見やすいホームページにすべく改善・リニューアルを施し、迅速な福祉情報伝達に努めます。	実績値（28年度）：●				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	最新の情報を伝達できるよう迅速な更新	●	●	●	●	●

【基本目標2】 みんなで地域福祉活動に参加しよう

（3）ボランティア活動に参加しよう

☆方向性

①ボランティア活動ができる環境づくり

→それぞれが得意なことを活かし、身近にボランティアが出来るよう、また気軽にボランティア相談が出来るよう、普及・啓発をすると共に、ボランティアセンターの機能を強化し、ボランティア活動に取り組みやすい環境づくりに努めます。

②ボランティア活動への参加促進★

→町民それぞれに応じた地域活動・ボランティア活動ができるよう、各種情報提供しながら参加を促進していきます。またボランティア活動PR強化月間を設定し、ボランティア活動に参加するきっかけとなる講座の開催やボランティア活動の体験等の拡充に取り組みます。

☆それぞれの役割

住民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で支援を必要としている人がいることを知ろう。 ・身近なところからボランティアを始めてみよう（地域での見守り等）。 ・ボランティア活動に積極的に参加しよう。
自治会、民生委員・児童委員、地域団体・ボランティア団体など	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の活動を周知し、ボランティアに関心のある住民を増やそう。
福祉団体、福祉事業者など	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の機会の提供に協力しよう。
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動や団体の普及・啓発、活動支援に取り組みます。 ・ボランティア活動の場の提供を行います。 ・ボランティアに関する相談・支援を行います。 ・ボランティア活動・住民活動の情報提供をします。 ・ボランティアニーズの把握に努めます。 ・ボランティアセンターの機能強化をします。
町	<ul style="list-style-type: none"> ・広報やホームページでボランティア活動や団体をPRし、活性化の支援を行います。 ・住民活動を支援するため、活動場所としての機能を備えた場の設置を検討します。

☆主な取り組み

・ボランティアセンター事業（社会福祉協議会）

概要	ボランティアについての相談窓口、ボランティアコーディネート、ボランティア情報の発信等を行います。 寒川町の地域活動を支える拠点となる「(仮称)さむかわ地域活動サポートセンター」への発展を検討します。	実績値（28年度）：2,489				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	社協ボランティアセンター個人登録ボランティアの年間活動人数（人）	2,700	2,800	2,800	2,800	2,800

・ボランティア活動のPRと参加しやすい環境づくり（社会福祉協議会）

概要	ボランティア活動PR強化月間を充実させ、ボランティア活動に参加するきっかけとなる講座の開催やボランティア活動の体験等の拡充に取り組みます。	実績値（28年度）：18				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	新たなボランティア登録者数（人）	12	12	15	15	15



（４）交流できる場をつくろう

☆方向性

①交流できる環境づくり

→地域住民が気軽に集まり、子どもから高齢者まで交流できるような環境づくりを進めることで、地域交流の推進を図ります。

②地域で支え合える相談体制の整備

→住民同士のつながりを大切にしながら、支えあう体制づくりを進め、地域における身近な相談ができ、様々な生活問題の予防策や早期発見・早期対応ができる地域のしくみづくりを進めていきます。

☆それぞれの役割

住民	・地区の行事や交流の場に参加しよう。
自治会、民生委員・児童委員、地域団体・ボランティア団体など	・地域の誰もが参加できる交流づくりを進め、参加を呼びかけよう。

福祉団体、福祉事業者など	・専門的な助言や支援をしよう。
社会福祉協議会	・交流できる場の設定やそうした活動に対する支援を行います。 ・サロン活動の立ち上げ支援を行います。 ・誰もが参加できるふれあい・いきいきサロン活動を推進します。 ・地域における世代間交流の機会等に積極的に参加します。
町	・交流できる場の確保と提供を進めます。 ・民生委員・児童委員活動の支援や研修の充実を図ります。 ・児童虐待防止ネットワークを推進し、充実を図ります。 ・障がいのある人やその介護を行う人からの相談に応じ、必要な情報の提供のため援助を行い、自立した日常生活や社会生活が営むことができるよう支援します。

☆主な取り組み

・民生委員・児童委員活動事業（町）

概要	地域住民に対する的確な援助、相談、指導等の活動を行うため、研修会等の実施に対し補助を行い、資質向上を図ります。	実績値（28年度）：14/10,199				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	研修会実施回数（回）	11	11	11	11	11
	延べ活動日数（日）	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900

・小地域福祉活動事業（社会福祉協議会）

概要	自治会等身近な地域でのサロン活動の継続的な支援や立ち上げに際しての相談・バックアップを行います。	実績値（28年度）：15				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	立ち上げ地区数（地区）	15	16	16	16	16

・ふれあい福祉フェスティバル（社会福祉協議会）

概要	だれもが気軽に集い、催し物や模擬店等を通じて交流や体験出来る場を創出することを目的に開催します。	実績値（28年度）：悪天候のため中止				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	来場者数（人）	4,000	4,200	4,300	4,300	4,300

・ふれあい・いきいきサロン（社会福祉協議会）

概要	仲間づくりや協力体制づくりを進めるため、障がい者や子育て中の親子等を対象に開催します。	実績値（28年度）：652				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	サロン参加者数（利用者数・人）	750	770	750	750	750



【基本目標3】 みんなでつながり新しい担い手を育てよう

(5) 福祉活動の担い手を育てよう

☆方向性

①学習機会の充実★

→地域福祉の活発化、並びに理解を深めるための講座や学習機会を設けます。また、学習だけにとどまらず、新たな活動の担い手として地域で活躍してもらえるようサポートします。

②世代や障がいを越えた交流の場の確保

→老若男女問わず、世代間を越えた交流ができる場を設定することを通じて、知識や経験を教わり地域福祉に活かせることのできる環境づくりを進めます。

☆それぞれの役割

住民	<ul style="list-style-type: none"> • 講座や研修に参加しよう。 • 交流の場に参加し、つながりを広げよう。
自治会、民生委員・児童委員、地域団体・ボランティア団体など	<ul style="list-style-type: none"> • 福祉について学び、地域の福祉活動を推進しよう。 • 障がい者や高齢者など、誰もが交流できる場に参加できるよう開催方法を工夫しよう。

福祉団体、福祉事業者など	<ul style="list-style-type: none"> • 専門的な助言や地域の活動の支援をしよう。
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> • 地域で福祉活動に関わる人材やボランティアリーダーを育成します。 • 誰もが参加できる学習機会の充実に努めます。 • 福祉教育の推進に取り組みます。
町	<ul style="list-style-type: none"> • 交流できる場の提供を進めます。 • 研修、講座の情報収集と提供を行います。



☆主な取り組み

• 手話奉仕員養成研修事業（町）

概要	障がいのある人が積極的に社会へ参加できるよう支援するために、町聴覚障害者協会の協力を得ながら、手話通訳者養成講座を開催します。	実績値（28年度）：21				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	講座受講者数（人）	32	32	32	32	32

• ボランティア講座（社会福祉協議会）

概要	その時々の方々のニーズに応じたテーマを内容とし、新たなボランティアの掘り起こしを目指します。	実績値（28年度）：67				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	ボランティア講座受講者のべ人数（人）	120	130	100	100	100



(6) つながり合い福祉の輪を広げよう

☆方向性

①地域における人材の受け入れ拡大

→地域社会において、企業の退職者等が地域福祉に関心をもち、より積極的に福祉活動に参加できる基盤整備に努めます。また、現在企業において取り組まれている職場体験の受け入れの幅を広げ、福祉分野での受け入れを増やします。

②地域企業や学校等との連携

→町内にある企業や学校等全てが地域の一員として地域福祉を理解し、協力が得られるよう働きかけます。

☆それぞれの役割

住民	・積極的に各団体等に参加しよう。
自治会、民生委員・児童委員、地域団体・ボランティア団体など	・地域に受け入れやすい体制をつくろう。
福祉団体、福祉事業者など	・専門的な助言や地域の活動の支援をしよう。
社会福祉協議会	・様々な機関と連携し、福祉についての理解を広めると共に、協力を得られるよう働きかけます。
町	・企業等を退職された方が地域で活動できる基盤を確保し、地域での交流を深め、自主的な活動を地域に広げていくことのできる環境を整備していきます。

☆主な取り組み（※目標が数値で表せない事業については●で表現しています。）

・シルバー人材センター支援事業（町）

概要	シルバー人材センターの機能充実、支援を推進し、高齢者の社会参加の場の確保と生きがいや社会貢献の推進を図ります。	実績値（28年度）：306				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	登録会員数（人）	389	395	401	407	413

• 高齢者生きがいづくり等支援事業（町）

概要	シニアクラブ（旧老人クラブ）の親睦や地域での生きがいと健康づくり推進のため、シニアクラブ連合会及び各シニアクラブの活動の活性化を支援します。	実績値（28年度）：15				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	シニアクラブ数	15	15	15	15	15



• ふれあい福祉フェスティバル（社会福祉協議会）

概要	様々な団体が出店し、各団体のPRを行うと共に、団体同士、顔をつなぐことで連携を深め、福祉の輪を広げます。	実績値（28年度）：悪天候のため中止				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	出店団体数（団体）	36	37	38	39	40

• 小中学校福祉協力校助成事業（社会福祉協議会）

概要	若い福祉の芽を育てるべく、町内全小・中学校に福祉教育に係る費用を助成すると共に、プログラム内容の相談や講師の調整、当日の支援等を行います。	実績値（28年度）：●				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	学んだことを活かせるような、子どもたちの地域社会での活動	●	●	●	●	●

【基本目標4】 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう

(7) 暮らしやすい生活環境をつくろう

☆方向性


①バリアフリーのまちづくり推進

→誰もが安心して地域へ出られるように、設備面だけでなく、みんなが助け合えるような意識面のバリアフリー化を進めていきます。

②生活環境づくりの推進

→安心できる暮らしやすい生活環境は、生活にゆとりやうるおいを与え、ひいては地域の活性化にもつながります。そのためには、地域における助け合い、見守りが不可欠です。

☆それぞれの役割

住民	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている人に声をかけよう。
自治会、民生委員・児童委員、地域団体・ボランティア団体など	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の環境を安全やバリアフリーの視点でみてみよう。 ・住民同士の思いやりを広げよう。 
福祉団体、福祉事業者など	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが使いやすい施設づくりに配慮をしよう。
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・法人後見事業、並びに日常生活自立支援事業を推進すると共に、権利擁護意識の高揚や成年後見制度の普及・啓発に努めます。 ・家族の介護負担の軽減を図るため、おむつ代助成や情報提供等を行います。
町	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者や高齢者等が安心して外出できるよう、通行しやすい歩行者空間の確保や交通事故防止等に向けた安全対策の推進を図ります。 ・障がい者や高齢者等が利用する施設等については、操作しやすい、わかりやすい情報機器の整備や、親切でよくわかる情報の提供に努めます。 ・高齢者や障がい者、子育て世帯が安心して暮らせるような生活環境の整備に努めます。

☆主な取り組み（※目標が数値で表せない事業については●で表現しています。）

・在宅障がい者福祉サービス充実事業（バリアフリー化した住宅改修費助成等）（町）

概要	障がい者の地域支援を充実することを目的とし、在宅重度障がい者のための住宅設備改良及び障がい者の日常生活の安全確保のためのSOSネットワーク等の支援を行います。	実績値（28年度）：25				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	制度周知の実施	25	25	●	●	●

※目標について、平成30年度より制度周知回数から制度周知の実施に変更したことに伴い目標値を「●」に変更しています。

・障害者自立支援給付事業（町）

概要	障がい者が日常生活及び社会生活において自立した生活を送ることができるよう、必要な介護及び訓練等の提供を行います。	実績値（28年度）：25				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	制度周知の実施	25	25	●	●	●

※目標について、平成30年度より制度周知回数から制度周知の実施に変更したことに伴い目標値を「●」に変更しています。

・子育て支援事業（町）

概要	子育て支援策の一環として、子育てサポートセンターを拠点に、子育て相談・虐待相談・育児の援助を受けたい人を行う人が会員となって一時預かり等の事業を行います。	実績値（28年度）：9,663				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	子育て支援センターの利用者数（人）	12,250	12,500	—	—	—

※幼稚園でのプレ保育の充実や社会情勢の変化、人口減少などの様々な要因により、利用件数の目標達成は厳しい状況となっている。子ども・子育て会議に於いて、平成29年度に事業内容や目標値の変更も含め検討していきます。



・児童クラブ運営事業（町）

概要	保護者が仕事などで昼間、家にいない家庭の子ども達（小学生）の健全な育成を図るため、地域の理解と協力を得て、児童クラブの適正な運営を行います。	実績値（28年度）：99				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	入所を希望する者に対する入所率（%）	100	100	100	100	100

・ふれあい塾運営事業 ★新規事業★（町）

概要	安全に遊べる場所である放課後の体育館を活用し、地域や児童クラブとの連携をとりながら安心して遊べる場を提供し、より多くの児童が安全に過ごせる環境を整えます。	実績値（28年度）：505				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	延べ開所日数（5校合計）	—	520	520	520	520

・高齢者在宅福祉サービス事業（緊急通報システム・給食サービス・戸別じん芥収集）（町）

概要	在宅生活が困難である高齢者等が安心して生活が送れるよう必要に応じた各種支援を行います。	実績値（28年度）：●				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	必要に応じた適切なサービス提供を行います。	●	●	●	●	●

・成年後見制度講座の開催（社会福祉協議会）

概要	成年後見制度に関する講座を開催し、制度の普及・啓発を行います。	実績値（28年度）：29				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	来場者数（人）	30	30	30	30	30

・法人後見事業（社会福祉協議会）

概要	成年後見制度の利用が困難な方を中心に、その担い手を法人として引き受け、権利擁護推進の一助とします。	実績値（28年度）：1				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	受任件数（件）	2	3	3	3	3

(8) 安心できる環境をつくろう

☆方向性

①健康づくり

→町民一人ひとりが、健康な生活習慣を身につけるためには、個人が健康に関する知識や技術を身につけることが必要です。そのために、個人の健康づくりを支えるための健康的な環境づくり・地域づくりを推進します。

②緊急・災害時の対応★

→災害発生時に避難行動要支援者の安否確認や避難支援を迅速に進めるために、地域の助け合いが必要です。地域における防災意識を高める取り組みを行うとともに、各地域における避難支援体制を推進します。

また災害時のボランティア活動を受け入れるための拠点「寒川町災害ボランティアセンター」が、迅速に設置・運営ができるよう、実践へとつなげる準備を進めます。

☆それぞれの役割

住民	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりや食育の正しい知識を身につけよう。 ・近所での見守り合いを心がけよう。 ・地域の自主防災組織訓練に参加しよう。
自治会、民生委員・児童委員、地域団体・ボランティア団体など	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や催しなど地域住民がお互いの交流を通じて、健康づくり・食育を実践しよう。 ・見守り等の支援体制づくりを推進しよう。
福祉団体、福祉事業者など	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの特性を生かして、健康づくりと食育を実践し協力して推進しよう。 ・災害時の支援体制づくりを推進しよう。
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生後、被災地支援のボランティアを受け入れる災害ボランティアセンターを立ち上げます。 ・平常時の社会福祉協議会ボランティアセンターを、災害時の「寒川町災害ボランティアセンター」に、そのまま移行できるよう、備品や職員体制を備えます。(危機管理マニュアル、寒川町災害ボランティアセンター運営マニュアルを基にした対応) ・その他、災害ボランティア活動に関する情報収集に努め、可能な範囲で実際に被災地支援ボランティア活動に出向くことができるように準備します。

町	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりや食育に関する正しい情報や有益な知識を普及・啓発します。 緊急時・災害時においては、障がい者や高齢者等の要支援者の避難・誘導などを適切に行うため、地域と行政が連携を図り、防災情報の伝達手段・伝達体制の整備や避難誘導等の支援体制を整備します。
---	--

☆主な取り組み（※目標が数値で表せない事業については●で表現しています。）

・健康普及事業（町）

概要	地域の実情や町民のライフステージに合わせた健康づくりを支援するため、町民が自主的に健康づくり等に取り組むための機会や場を提供します。	実績値（28年度）：73				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	健康づくりや食育をテーマとする講座の年間開催数（回）	65	67	68	68	68



・健康増進事業（町）

概要	健康についての正しい知識を得ることで健康に対する心配や不安を解消するため、健康教育等の事業を対象者へ周知・勧奨します。	実績値（28年度）：52				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	健康増進事業の周知回数（回）	43	45	61	61	61

・緊急通報システム（高齢者在宅福祉サービス事業内）（町）

概要	慢性疾患があり、日常生活を過ごすことに不安がある独居高齢者に対し、緊急事態発生時に迅速な救援体制が取れるように緊急通報システムを貸与します。	実績値（28年度）：●				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	在宅生活が困難な高齢者に対して安心して生活が送れるように支援。	●	●	●	●	●

・避難行動要支援者支援事業（町）

概要	災害時における要支援者の安否確認や情報の伝達、迅速な避難誘導を行うため、特に配慮を要する者について名簿を作成します。	実績値（28年度）：●				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	避難行動要支援者の把握、同意確認・情報の共有・個別支援計画の作成支援。	●	●	●	●	●

・災害ボランティアセンター（社会福祉協議会）

概要	災害時のボランティア活動の拠点として、町・さむかわ災害ボランティアネットワークと協力し災害ボランティアセンターの設置、運営を行います。また、備えとしての訓練はより実践的な内容で取り組みます。	実績値（28年度）：2				
		実施年度				
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	災害ボランティアセンター設置訓練の開催回数（回）	2	2	2	2	2



平成30年3月発行

発行・編集：寒川町・寒川町社会福祉協議会

○寒川町

〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山165番地

TEL0467-74-1111（代表） FAX0467-74-5613

e-mail：fukushi@town.samukawa.kanagawa.jp

○寒川町社会福祉協議会

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山401番地（健康管理センター内）

TEL0467-74-7621 FAX0467-74-5716

e-mail：shakyo@t-samukawa.or.jp